



キリスト教と文化研究所公開シンポジウム

『原発・原爆から見たエネルギー・環境問題とキリスト教の役割』－『環境神学』の構築と課題（4）－

2011年（平成23年）3月11日（金）に発生した東日本大震災による福島原子力発電所の大事故（メルトダウン）から約5年になる。この未曾有の大災害からどのように回復・再生すべきか、また、原発・原爆・エネルギー・環境政策を含めて今後どのような社会システムを構築したらよいかを基本的に考え直す必要がある。宗教界、特にキリスト教はどのような役割を果たすかが問われている。

2011年度から2013年度の計3回のシンポジウムに引き続き、原発・原爆・エネルギー・環境問題等から見たキリスト教の役割を改めて考える。

ことに、新しい『環境神学』をどのように構築し実践すべきかその役割と課題を検討し、探究する。

1. 日時：2016年（平成28年）3月19日（土）午後2時－5時
2. 会場：関東学院大学金沢八景キャンパス・フォーサイト21棟6階F601教室
3. 交通：京急電鉄金沢八景駅から徒歩約15分・関東学院循環バスで約5分。
交通アクセスは、下記ホームページを参照してください。

<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/about1/index.php?id=6>

4. 講師：^{こばやし}小林 ^{たかよし}孝吉（文芸評論家・学校法人神奈川大学常務理事）
題目：『「3・11」と内村鑑三の再臨信仰－原発と原爆の文学とともに－』
^{やすだ}安田 ^{やそい}八十五（環境政策学者・関東学院大学経済学部前教授）
題目：『環境神学から見た原発・エネルギー・環境問題のシステム分析と政策構想』
5. 主催：関東学院大学キリスト教と文化研究所（企画・「依存症と環境神学」グループ）
6. 後援：日本マクロエンジニアリング学会

※参加ご希望の方は、氏名（ふりがな）・所属・連絡先（電話番号・メールアドレス等）等を記入し、電子メール・ファックス等で下記あてに3月16日（水）までに申し込みをお願いします。なお、申し込み無くとも当日参加可能ですので、是非ご参加ください。

お問い合わせ：関東学院大学キリスト教と文化研究所
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1
電話／FAX：045-786-7873／045-786-7806
Email：kgujesus@kanto-gakuin.ac.jp